



看護部通信



2024年 8月

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、大規模なお祭りも実施できるようになりました。夏祭りなど日本の風物詩が楽しめる日常になり嬉しい限りです。秋田でも竿灯が開催される時期となりました。「竿灯」の発祥は江戸時代中期に遡り、元々は「ねぶり流し」、「星祭り」、「七夕祭り」などと呼ばれていたようです。「ねぶり流し」の無病息災や家内安全の祈願に加え、竿の形を稲穂や俵になぞらえて、豊作祈願の意味を持つようになったと言われています。残暑厳しい日々が続きますが、しっかり熱中症対策をして夏祭りを楽しんでみませんか。
(看護管理室)

「これからの暮らし」

1 病棟 M

小暑を過ぎ、いよいよ夏本番といったところですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年に入り物価は高騰しているにも関わらず、消費税はそのままで頭を悩ませているご家庭も多いのではないのでしょうか。さてこの消費税という税金は、主に何に使われているかご存じでしょうか？現在10%の消費税のうち9割は、年金・医療・介護・子育てなどの社会保障に使われています。

そんな中、秋田県の人口は2050年までには42%減り、56万人となり人口の半数が65歳以上になると言われています。消費税と社会保障制度、少子高齢化問題は密接な関係があり、今後も私達の生活に影響を与えるでしょう。「健康な身体で動ける歳まで働く」ことを目標に、〇〇年働いていこうと思います。



「かき氷巡り」

1 病棟 H

今年の夏は気温が平年より高く、去年に匹敵する全国的に暑い夏ですね。毎日、暑い日が続いているので、この夏はかき氷巡りをしようと考えています。近年は味や素材、見た目もユニークなかき氷が増え、東京だとお店が300店舗以上あるそうです。今年のトレンドはフルーツ系の定番のものから低糖質、野菜をベースにした食事系かき氷、おにぎりをモチーフにした遊び心のあるかき氷もあり調べてみると面白いです。氷がフワフワとしたかき氷やクリームが乗った物も素敵ですが、最初は地元の慣れ親しんだかき氷から初めてみようと思います。皆さんも暑さ対策にかき氷を食べてみるのはいかがでしょうか。